

平成28年度のまちづくり展望

国土交通省平成28年度予算概算要求の概要

国土交通省の平成28年度予算が公表されていますが、近年の予算要求は「新しい日本のための優先課題推進枠」が設定されていることが大きな特徴であり、今回も平成28年度に優先すべき施策が明確に示されています。

新年にあたり、上記の内容を確認しながら、平成28年度のまちづくり施策の方向性を展望します。

<新しい日本のための優先課題推進枠の概要>

「新しい日本のための優先課題推進枠」の中で、「まちづくり」との関連が比較的深い主要な項目を列举すると以下のとおりです。

- 南海トラフ巨大地震・首都直下地震対策等の推進
- 道路ネットワークによる地域・拠点の連携確保
- 道路の老朽化対策
- 防災・安全社会資本整備交付金
- 地域公共交通確保維持改善事業
- 空き家対策総合支援事業
- 地域型住宅グリーン化事業
- 長期優良化リフォーム推進事業
- 社会資本整備総合交付金
- 住宅市街地総合整備事業（拠点開発型・街なか居住再生型）
- 地域居住機能再生推進事業
- 地方創生推進交付金

なお、要望事業の中で、要望額が最も多いのは「防災・安全社会資本整備交付金」であり、防災・安全対策の重要性・緊急性が高いと考えられます。巨大地震対策等の推進や道路の老朽化対策、地域公共交通確保維持改善事業等もあわせて、社会基盤の防災性・安全性を高めるための取組が強く求められているといえます。

また、地方創生推進交付金にあわせて、空き家対策総合支援事業や地域型住宅グリーン事業、長期優良化リフォーム推進事業、地域居住機能再生推進事業などの実施が位置づけられており、少子高齢の本格化に対応した住宅・住宅地の適切な確保と地域の再生を総合的に実施していくとが求められているといえます。

地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援（防災・安全交付金）の概要

頻発する風水害・土砂災害や大規模地震・津波に対する防災・減災対策、インフラ長寿命化計画を踏まえた老朽化対策など地域における総合的な取組を集中支援する。

- 土砂災害防止法に基づく基礎調査の推進
- 緊急輸送道路等における無電中化の推進
- 都市浸水対策としての河川・下水道整備
- 道路の耐震対策、風水害対策
- 住宅・建築物の耐震化
- 密集市街地の防災性の向上
- 道路施設の老朽化対策
- 下水道施設の老朽化対策
- 河川管理施設等の老朽化対策 など

地域を支える社会基盤整備の総合的支援 （社会資本整備総合交付金）の概要

「コンパクト＋ネットワーク」の推進に資する取組や子育て・高齢者に対応した地域と暮らしの魅力の向上に資する取組等を重点的に支援する。

- 立地適正化計画に基づく「都市機能誘導区域」、「居住誘導区域」において、
- 高齢者向け生活支援施設、子育て支援施設の誘致と合わせた公営住宅の建替え等
 - 歩行空間のバリアフリー化
 - 都市の水環境を改善し、居住環境を改善させる下水道整備
 - 地域の居住環境の向上・子育て支援等に対応した都市公園の整備
 - 生活に必要な機能へのアクセスや立地誘導を支える公共交通施設の整備
 - 再開発事業等による、医療・福祉、子育て支援、商業施設等の整備 など

当社は、「コミュニティ・コンサルタント」として、地域の実情に応じたまちづくり方策の提案と具体的な事業実施の支援を地域・住民等の視点からご提供致します。

お問い合わせ・ご意見は、

㈱石田技術コンサルタンツ まちづくり担当

TEL；0568-73-1085

FAX；0568-73-1099

e-mail；hasegawa_n@itcnet.co.jp

までお願いします。

当社は、

「頼れる！まちづくりのパートナー」としての

『コミュニティ・コンサルタント』

を目指しています。



株式会社 石田技術コンサルタンツ